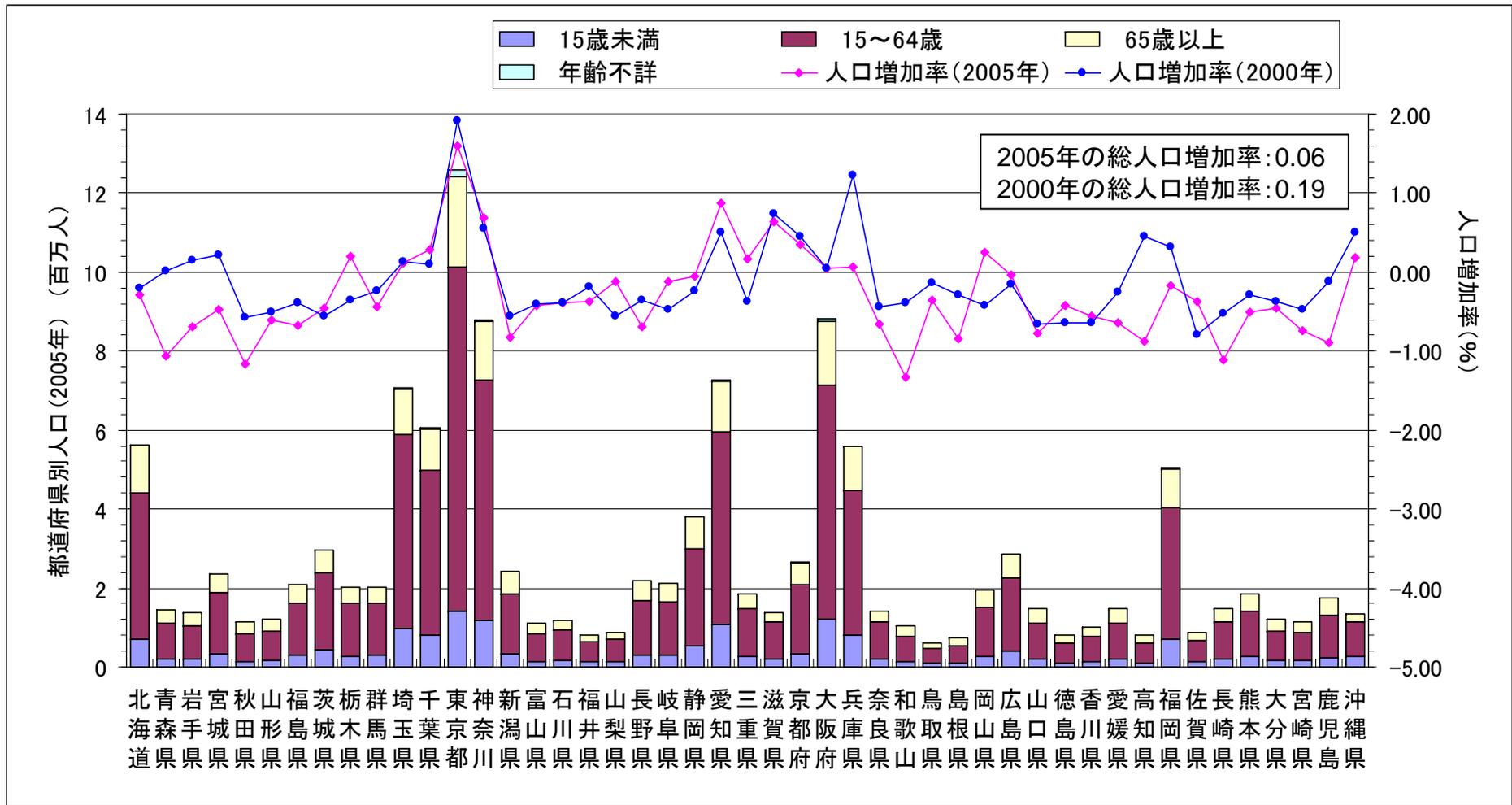


産学官連携による地域における人材 の空洞化の流れの転換について

内閣府 地域科学技術施策WG事務局

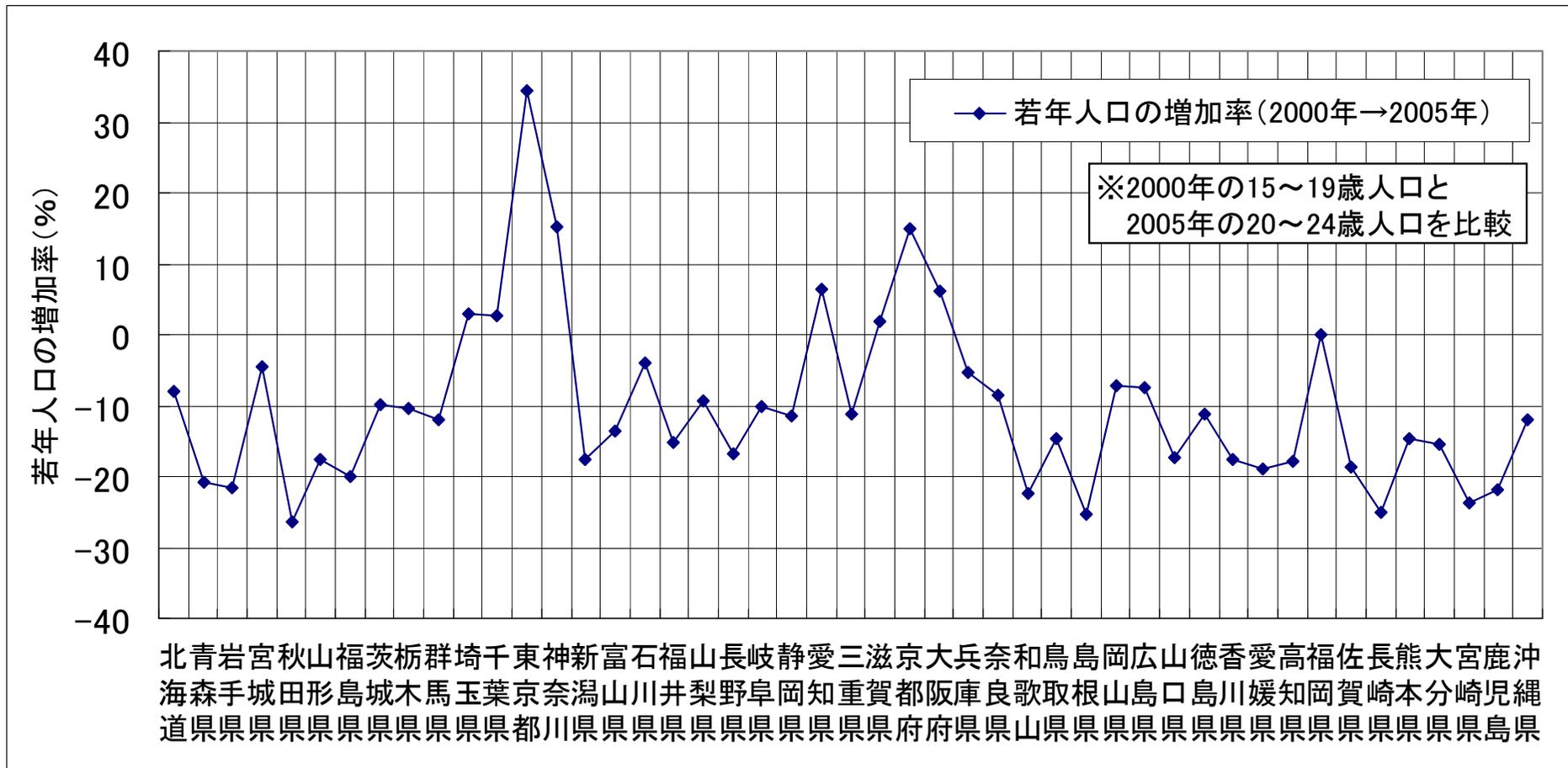
都道府県別人口(2005年)及び人口増加率(2005年及び2000年)



(総務省「統計でみる都道府県のすがた2007」及び「同2002」をもとに作成)

- ・人口は三大都市圏に集中。
- ・人口増加率は、三大都市圏で高く、地方は低い。また、地方では人口減少が進んでいる。

都道府県ごとの若年人口の変化（2000年の15～19歳人口と2005年の20～24歳人口を比較）



(内閣府経済財政分析担当「地域の経済2007－自立を目指す地域経済－」をもとに作成)

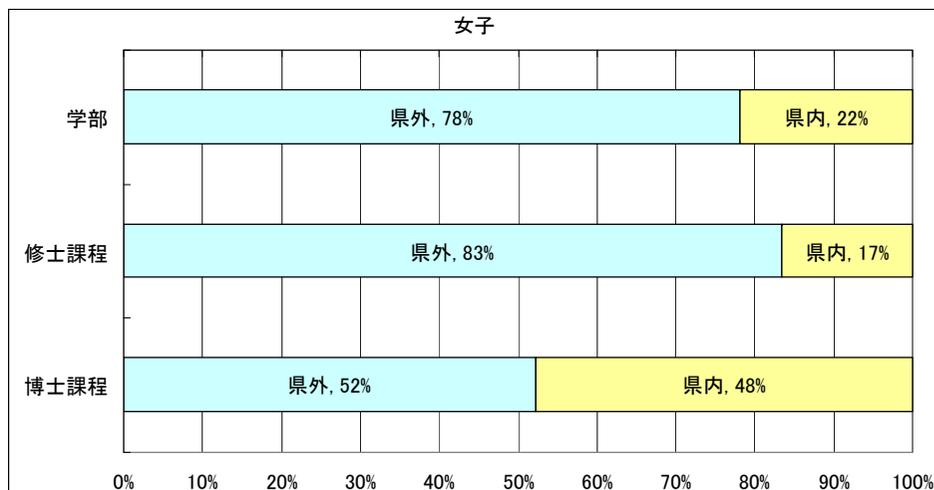
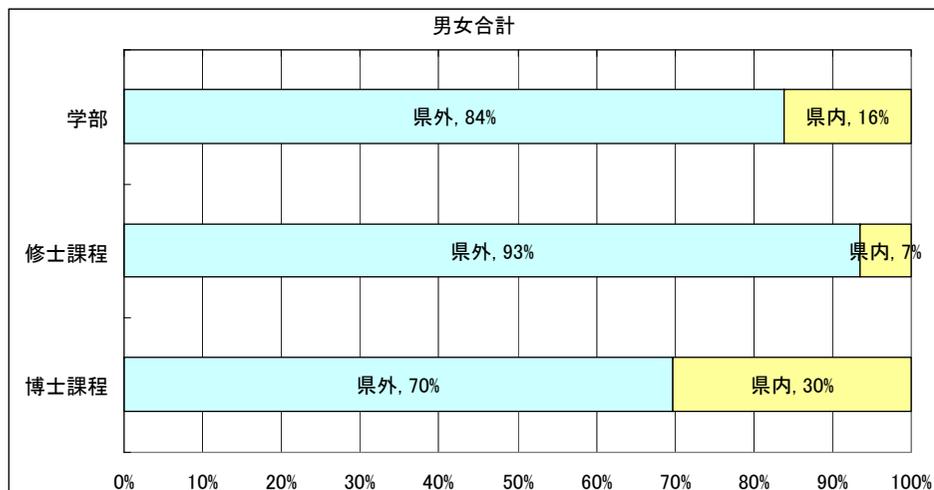
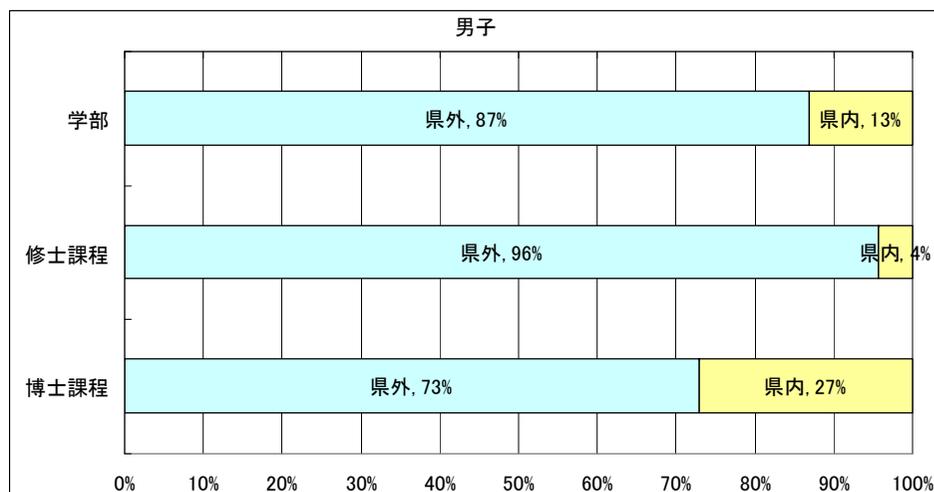
・2000年の15～19歳の人口と2005年の20～24歳人口とを比較すると、**三大都市圏で増加し**、その他の地域では減少している。

→ 若年層が大都市に進学や就職などで移動。

地方の国立大学卒業生等の就職先等の状況(東北大学の例)①

	就職者数			県外への就職者数		
	男女	男子	女子	男女	男子	女子
学部	608	398	210	510	346	164
修士課程 (博士前期課程含む)	1211	1001	210	1132	957	175
博士課程 (博士後期課程含む)	409	344	65	285	251	34

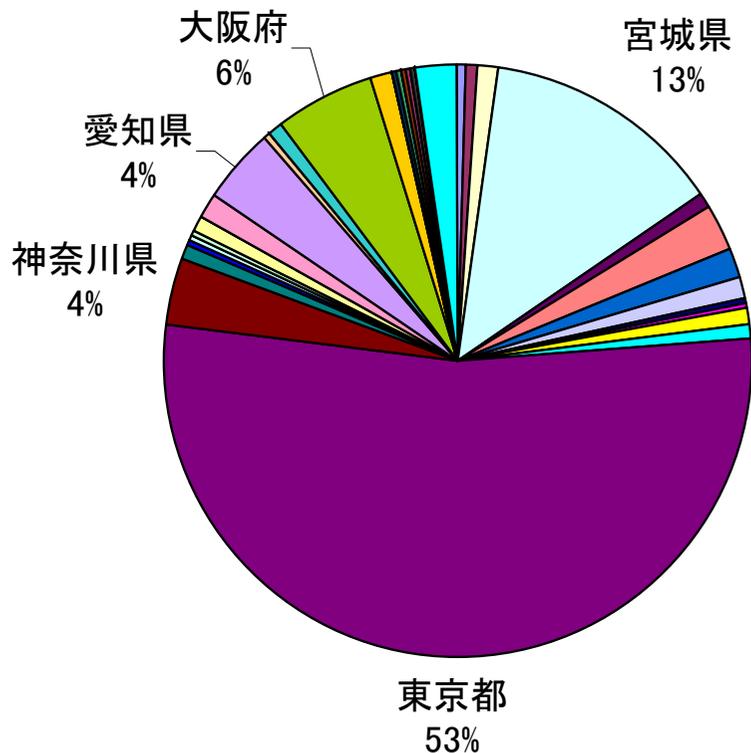
(東北大学進路状況調(平成18年度卒業修了))



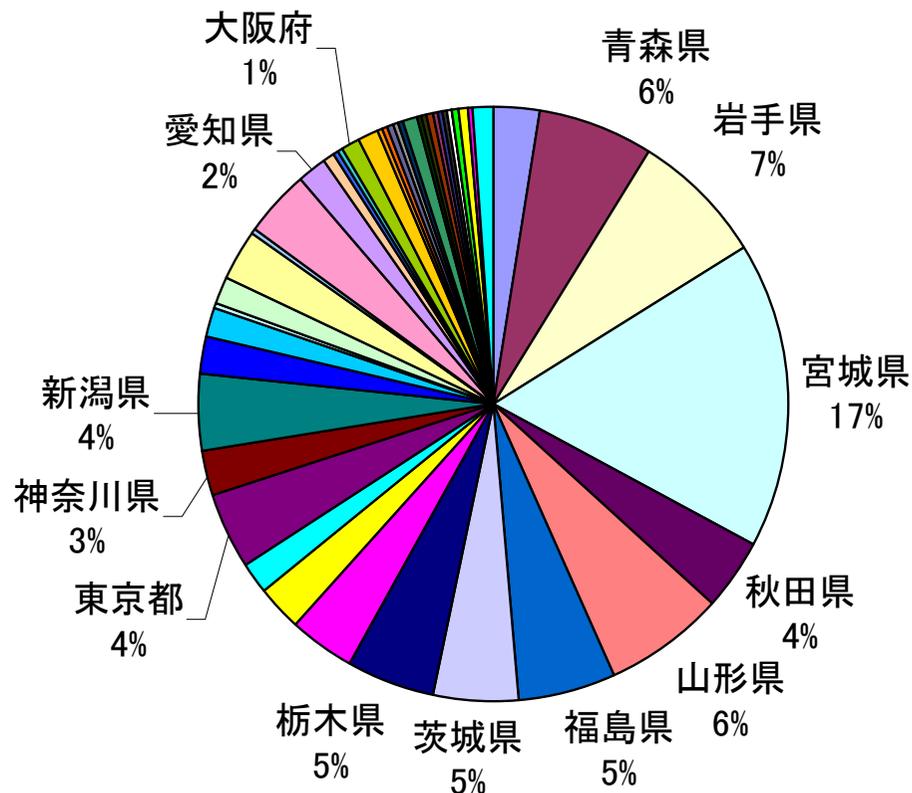
- ・大学・大学院卒に限らず、男女ともに、**県外へ就職する学生の割合は高い。**
- ・**県外へ就職する学生の割合は修士課程修了者、学部卒業生の順に高く、この傾向は男子でより顕著。**

地方の国立大学卒業生等の就職先等の状況(東北大学の例)②

卒業修了者の就職先(都道府県別)



大学入学者の出身地(都道府県別)



(東北大学進路状況調(平成18年度入学・卒業修了))

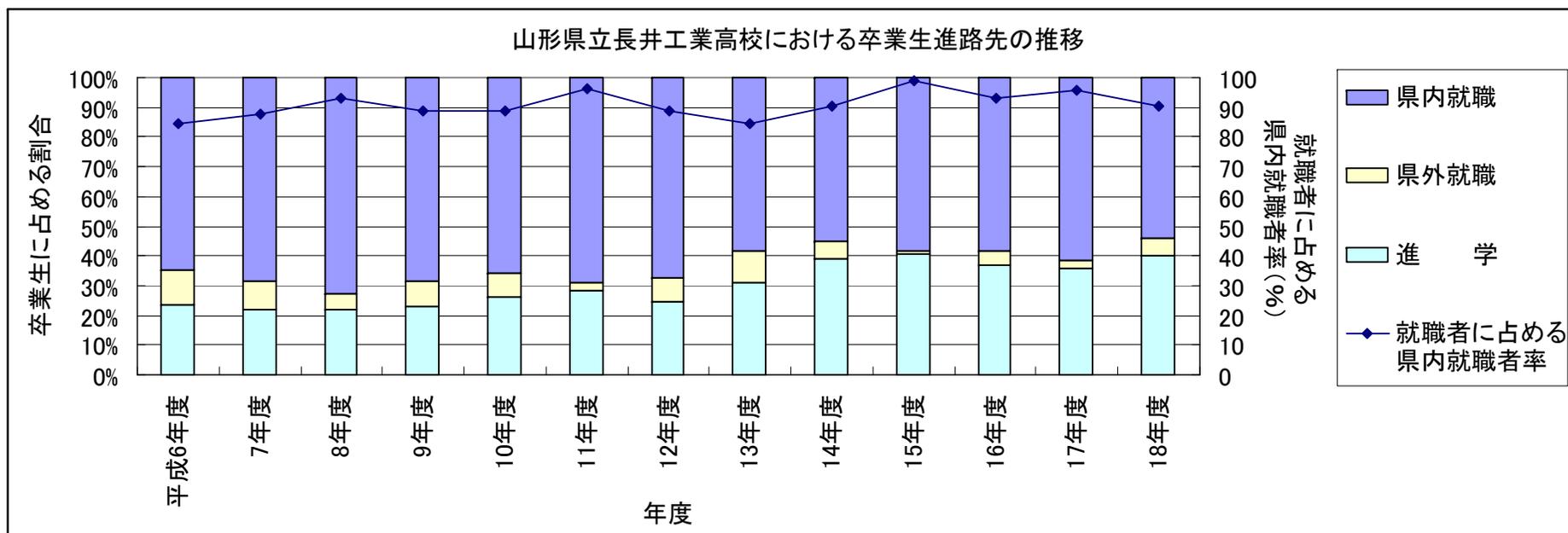
- ・入学者数は、県内からの420人を筆頭に、東北各県及び新潟県、茨城県、栃木県、東京都から100名以上。
- ・大学卒業生数及び大学院修了者数は、東京都の1204名、県内の305名が目立ち、大阪府、愛知県、神奈川県がこれに続く。

人材育成を地域資源とした事例－地元工業高校と企業との連携－（山形県長井市の事例）

山形県長井市（人口約3万人）は、地域振興のための最大の資源は人材であると考え、学校、産業界、市が一体となって山形県立長井工業高校の人材育成に力を注ぎ、技能検定合格者を毎年数十人単位で輩出するなど、同校はいまや日本の工業高校のモデル校といわれるまでに発展。

卒業後の進路としては、就職者の地元就職率が90%を超えており、地元企業を背負う人材の供給源となっている。その一方で、ある在京の企業に就職する卒業生が増え、その企業が長井市に工場を進出させるという、言うなれば、工業高校による企業誘致をもたらした事例である。

（（社）日本経済団体連合会「地域経済の活性化を担う地元企業の役割」をもとに記述）



（長井工業高校HPをもとに作成）